

2025

ぶうげん
びりあ10
月号

No.379

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

学芸会 11月2日（日）の発表をお楽しみに

副校長 旭岡 真司

令和7年度も半分が経過いたしました。日々の教育活動はもちろんのこと、各学年の校外学習や運動会等の学校行事が無事に行えていることは、保護者の皆様のご理解とご支援のお陰であることを改めて感謝申し上げます。先月は、学校公開・道徳授業地区公開講座に、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。今年度は、新しい試みとして、中学部において保護者参加型の授業、地域・保護者の方を交えての意見交換会を行いました。多くの肯定的なご感想をいただけたことをありがたく思います。母島小中学校では、今後も新たなことに挑戦していきます。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、私は今年の夏季休業中に東京都島しょ副校長連絡協議会に参加してきました。この会の中で、普段悩んでいることの解決策になる講演を聞くことができました。講演は脳科学者の西剛志さんによるもので、後日著書を購入し、おがさわら丸の中で読了しました。以下、著書からの文章を引用します。私の普段の悩みは何か分かりますでしょうか？

高い声を聞くと、人は注意を向けますが、そこには緊張が伴います。一方で低い声には安心感があります。(中略)確かに声は生まれつきのものもあるので、変えるのは難しいですね。そんな人でも、伝わる声の使い方があります。そのコツを知るには、ソフトバンクの孫正義さんの話し方が参考になります。(中略)孫さんの講演を聞いていると面白いことに気づきます。強く何かを伝えたいときは高い声で話しているのですが、そのあとに少し間をあけて聞いている人に質問を投げかけるときは低い声で話をしているんです。

「結局、どうしたら伝わるのか？」著者 西 剛志 発行所 株式会社アスコム より引用

私は緊張すると、自覚できるほど早口で高音になります。講演会に参加することにより、どうしたら相手にうまく伝えられるのかのヒントをこの夏に学ぶことができました。



ところで、約1か月後の11月2日（日）は、本校の学芸会が開催されます。今月の小中学生は声の大きさや台詞の間、身振り・手振りを工夫して、どうしたらうまく伝わるのか・表現できるのかを考え、練習を繰り返します。練習の成果を学芸会でぜひご覧ください。

4年生は総合的な学習の時間に、母島や母島の属島である平島の自然についての調べ学習をしています。教室での学習はもちろんですが、実際に平島にわたり、フィールドワークを行うために様々な準備を重ねてまいりました。

まず5月には一般社団法人Islands care様にご協力いただき、脇浜なぎさ公園にてスノーケリング講習を実施いたしました。日頃から母島の海で泳ぎなれている子どもたちではありますが、目指すは手つかずの自然を有する平島。安全に活動するためには、自らの泳力を知ることはもちろん、一緒に泳ぐ人の泳力や体力も知り、海で活動することが大切だと教えていただきました。子どもたちは、友達と声を掛け合いながら、楽しみながらも真剣に、安全に講習に取り組みました。

次に6月には東京都レンジャーの皆様を講師としてお迎えし、事前授業をしていただきました。海での活動において最優先となるのは安全性の確保です。もし見つけても絶対に触れてはいけない危険生物についてや、海での活動についてなど、安全に活動を行うために丁寧なご指導をいただきました。ほかにも固有種や外来種についての説明、葉の形状から観た植物の判別方法など様々な資料、時には実物を用いて分かりやすく説明していただきました。島の生き物は、母島の子どもたちにとって身近な存在です。なじみ深い生き物の名前とともに、新たに知った生き物の名前や生態など、この事前学習ではわくわくするような発見がたくさんあったようです。

平島でのフィールドワークは当初は7月を予定していましたが、しかし、海況不良で度重なる延期となってしまう、夏休み以降の開催となっております。そして2学期が始まってすぐの9月2日、海況にも大変恵まれ、ついに平島へ上陸し、無事にフィールドワークを終えることができました。多くの平島の固有種との出会いや、澄み切った海での活動に子どもたちは夢中になって取り組んでいました。

平島校外学習の開催に際しましては母島漁協の皆様をはじめ、多くの皆様のご協力のもと、安全に挙行することができました。この場を借りてお礼申し上げます。未永く母島のすばらしい自然を守りたい、という子どもたちの地域への愛着を育むためにも、今後ともお力添えいただければ幸いです。



道徳授業地区公開講座

中学部進路指導・研究部

9月13日（土）の公開講座では、小学部の一斉道徳授業、中学部三年生の合同道徳授業（保護者参加型）そして生徒・保護者・地域の方を交えた意見交換会を行いました。特に3時間目の合同授業では、生徒から「普段の授業よりも多くの考え方・意見を共有できてよかった」という感想がありました。参加していただいた地域・保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

今後も母島小中学校の新しい取組に対して、ご理解いただけると幸いです。



2学期あいさつ運動

小学部生活指導担当

9月2日～8日は、2学期あいさつ運動週間でした。曜日ごとに下校班で振り分け、朝、みんなを出迎えられるように7時40分頃からあいさつを始めました。学校に来る人だけでなく、校門の前を通る村の方や観光客にも聞こえるように、大きな声であいさつをしていました。

班によって人数が随分違いましたが、どの班もそれぞれが協力し合って、声を出していました。担当班は少し朝早く起きて

登校しないといけませんでした。眠たい目を擦りながらも、みんなとてもよく頑張っていました。

あいさつ運動の取組は学期に一回しかありませんが、普段から大きい声であいさつができる子も多いです。あいさつ運動をきっかけに、どの子も、いつでもどこでも元気のよいあいさつができるようになるとよいなと思います。



9月の防災訓練

中学部生活指導担当

9月1日、防災の日に合わせて実施された村の総合防災訓練に、母島小中学校も参加しました。今回の訓練は「地震発生から90分後に津波が襲来する」という想定のもとで行われ、児童・生徒、教職員が一体となって避難行動を確認しました。

今年度より避難場所が変更され、診療所の建物内まで避難する実践的な内容となりました。児童・生徒は、暑さの厳しい中でも真剣な表情で避難場所までの道のりを歩き、診療所内では緊張感をもって

静かに待機することができました。

避難訓練の最後には、村役場の防災担当の方から、災害時の避難についてお話がありました。児童・生徒たちは最後まで集中して耳を傾け、命を守るための行動について改めて考える貴重な機会となりました。

今後も地域と連携しながら、災害に備える意識と行動力を育てていきたいと思えます。ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



10月の生活指導

生活目標

「自分から進んで働こう」

- 周りの人の支えに感謝しよう。
- 力を合わせて仕事をしよう。
- 社会に役立つ大切さを理解しよう。



安全指導 6日(月)

「刃物の取り扱いと道具の借用・返却について」が、重点指導目標です。

今月は、学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。先生に無断で使用するのではないよう、ルールを守り安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

避難訓練 8日(水)

校内での地震を想定した避難訓練を行います。各学級で突然の強い揺れから身を守る行動や判断を学びます。緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれることを目標に行っていきます。

令和7年度 学芸会

◆日時
学芸会 11月2日(日)
開演8時45分

今年度の学芸会は、以下の3つの演目を行います。

- 小1・2・3年 劇『めぐろのパンやさん』
- 小4・5・6年 劇『コラル王子と影の国』
- 中学生 劇『中学生免許』

来校の際は必ず上履きをお持ちください。
詳細につきましては、後日配布いたします
「学芸会のお知らせ」をご覧ください。
ご理解、ご協力をお願いいたします。



10月の主な行事予定

			16	木	プール納め
1	水	【小】飼育栽培委員会集会	17	金	水泳指導終【小56中】学芸会会場準備
2	木	【中】中間考査①	18	土	PTA プール開放
3	金	【中】中間考査②	19	日	PTA プール開放
4	土		20	月	中朝礼【小】クラブ SC 来校～23
5	日		21	火	ロードレース事前検診
6	月	朝礼 安全・保健指導【小中】委員会	22	水	【小6】小笠原小交流 16:00～
7	火		23	木	【小56】栄養教室
8	水	避難訓練(学級)	24	金	漢検②
9	木		25	土	
10	金		26	日	
11	土		27	月	【小】クラブ
12	日	御嶽神社例大祭	28	火	
13	月	スポーツの日	29	水	
14	火		30	木	学芸会予行
15	水	【小】保健体育委員会集会	31	金	



学校図書室開放日 2(木)・9(木)・16(木)・23(木)・30(木)14:00～16:30